

大阪歴史学会現地見学検討会

(共催：大阪府立狭山池博物館)

現地見学

9:30 南海高野線 大阪狭山市駅集合
転流溝調査地点～窯跡調査地点～大林組地
質調査地点～東樋、中樋、西樋～西除川
(11:30頃解散)

検討会

13:00～17:00 (開場は12時30分)

大阪府立狭山池博物館 2階ホール

・小山田宏一氏 (大阪府立狭山池博物館)

「狭山池の出現とその歴史的評価」

・溝口優樹氏 (中京大学)

「古代の狭山池と地域社会」

・池淵俊一氏 (島根県教育委員会)

「出雲における水利開発と地域社会

—6・7世紀を中心に—」

少雨決行

定員50名 (先着順、事前申込不要)

問い合わせ：大阪歴史学会

<http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp/>

開催日

2024年4月21日

(日)

大阪歴史学会では、実際に文化財を訪ね、その最新の研究成果にふれるため、市民参加型の催し「現地見学検討会」を毎年開催しています。今回は、大阪狭山市に所在する狭山池を取り上げます。古代史上、最も著名な灌漑施設と言っても過言ではない狭山池は、その後も南大阪の主要な水源として機能し、それは現代にまで受け継がれています。今回は改めて狭山池を巡検して理解を深めるとともに、古代社会の中で灌漑・水利がどのような制度のもとに運用されたか、地域社会とどのような関わりをもったかを検討します。

地域社会

古代の灌漑水利と